

基里地区まちづくり推進計画

第2次(令和4年度から令和13年度)



基里地区まちづくり推進協議会

～ ご挨拶 ～

基里地区の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素は基里地区まちづくり推進協議会の事業活動にご支援ご協力を賜り有難うございます。

本会は平成23年6月に発足し、平成24年に基里地区の課題・将来像から10年後を見据えた「基里地区まちづくり推進計画」を策定し、協議会として基里の長所である「きずなの強さ」「住みよさ」を伸ばすために、毎年様々な事業活動を展開してきました。

今回、10年目を迎えることから「基里地区まちづくり推進計画・絆」の検証（振り返り）を行い、再度、基里地区まちづくりに向けての住民アンケートをお願いし、地区の皆様の基里地区に対する意識調査を実施させていただきました。

結果的には、高齢化による近所づきあい、地区行事等への参加が減少傾向であり、各町の担い手育成が喫緊の課題として見えてきました。

当初からの基本目標「住民同士のきずなが強く、互いを助け合う基里地区の良さを次世代へ継承するとともに、より幸せで豊かな住みよいまち」達成は「まだまだ道半ば」であることから、当初の基本計画を踏襲し地区の皆様のご意見を賜りながら、地区に必要な事業活動を展開していきたいと思えます。

引き続きご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

基里地区まちづくり推進協議会 会長 山口 重昭

基里地区まちづくり推進計画 目次

1. はじめに ～まちづくり推進計画と期間～	
(1) 基里地区まちづくり推進計画について	1
(2) 推進計画の期間について	1
2. 基里地区の概要	
(1) 現状	2
(2) 地区人口・世帯数	2
(3) 行政区	3
(4) 主な行事	3
(5) 基里地区全体図	4
3. アンケート等から考える基里地区の現状	5
(平成23年と令和3年の比較)	
(1-1・1-2) アンケートの概要	6・7
(2-1・2-2) 地域に対する意識	8・9
(3-1・3-2) 基里地区の長所	10・11
(4-1・4-2) 基里地区の課題	12・13
4. 基里地区の将来像	
(1) 基本目標	14
(2) 基里地区まちづくり推進協議会シンボルマークの設置	14
(3) 基里地区まちづくり基本計画	15
5. 基本計画取組一覧表	16
6. まちづくり推進体制	17
7. 参考資料	18

1. はじめに ～まちづくり推進計画と期間～

(1) 基里地区まちづくり推進計画について

基里地区まちづくり推進計画は、地区の現状と課題をふまえ、当初計画は平成24年に10年後（令和4年度）の基里地区の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現するために策定されました。

計画策定にあたっては、地区の皆さんにアンケートをお願いし、基里地区の長所を伸ばし課題を解決していくことで、住みよいまちづくりが出来ると考え取組を行なってきました。

今回、10年目を迎えることから、再度、地区の皆さんにアンケートをお願いし、10年前と今回のアンケートにおいて地区の皆さんの基里地区に対する意識を確認するとともに、引き続き基里地区の将来像を地区全体で共有し、基本目標「住民同士のきずなが強く、互いを助け合う基里地区の良さを次世代へ継承するとともに、より幸せで豊かな住みよいまち」達成に向け、基里地区の皆さんと共に基里地区まちづくり推進協議会の活動を地区に広めていくものです。

(2) 推進計画の期間について

今回の期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間となります。計画期間中は、まちづくりの実現に向け1年毎に取組内容を検討実践します。



2. 基里地区の概要

(1) 現状

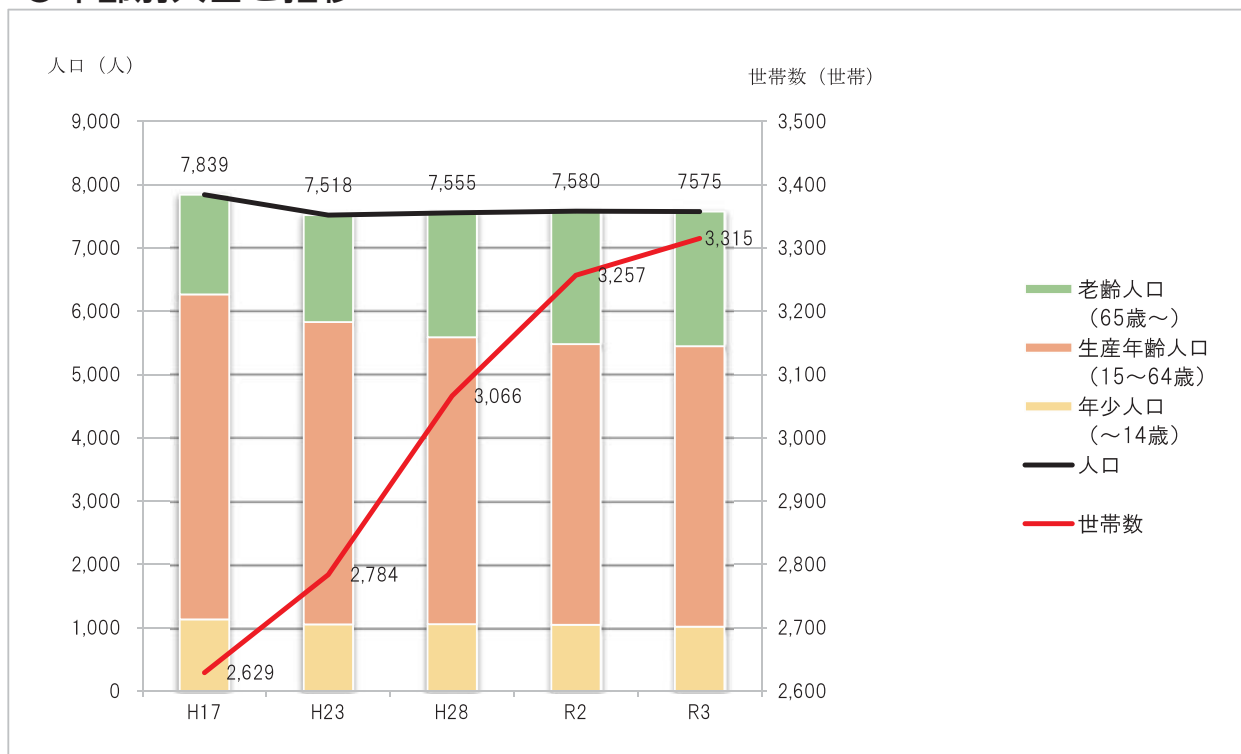
基里地区は鳥栖市の東部に位置し、南北に長い地形で地区の北部は九州交通の要衝である鳥栖ジャンクションがあり、物流団地などに企業が集積しています。

2024年（令和6年）には（仮称）味坂スマートインターが供用開始予定で、連絡道路開設により南部の田園地帯が分断されました。

さらに、水屋地区においても国道3号鳥栖久留米道路の開通が予定されています。主に国道3号線を中心に住宅地が広がっていますが、国道3号線道路拡幅による4車線化に伴い生活道路からの進入、横断や交通量の増加が懸念されます。

(2) 地区人口・世帯数

○年齢別人口と推移



人口は平成17年以降、15～64歳の生産年齢人口がゆるやかに減少しています。世帯数は平均すると毎年43世帯程度増加している反面、65歳以上の世帯も増加しており、老夫婦、高齢者の一人暮らしが増え高齢化がすすんでいます。

(3) 行政区

幡崎町、姫方町、原町、飯田町、曾根崎町
 松原町、桜町、酒井西町、酒井東町、水屋町

(4) 主な行事

- 春 春の社日、春の祭典・獅子舞、藤祭り、春祭り祭典、
 春の山王宮祭り、お粥占い、天満神社春季例大祭
- 夏 夏祭り、井堰祭り、田植願成就、根付願成就、さなぼり願成就
 夏越願成就、風止願成就、初秋願成就、七夕祭り
- 秋 敬老会、体育祭、運動会、社日祭、子ども相撲、秋祭り祭典、秋の大祭
 七五三会、秋の天満宮祭、放生会願成就、八幡神社放生会
 天満神社秋季例大祭、日吉神社申祭
- 冬 歩こう会、基里地区文化祭、元旦祭、新年祈願祭、ほんげんぎょう、もぐらうち
 基里地区もちつき大会、宮座（日吉神社・天満神社）
- 通年 ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会、清掃活動、廃品回収、防災訓練



曾根崎の獅子舞



姫方町の姫古曾神社七夕祭り



酒井西町の奉納子ども相撲



原町のほんげんぎょう



酒井西町のもぐらうち

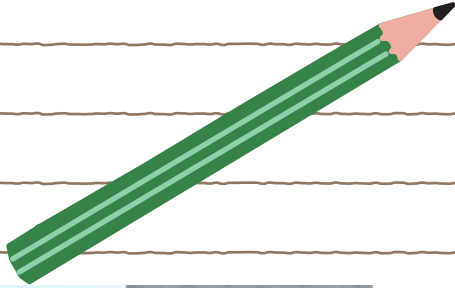


原町の藤祭り



基里小学校児童田植体験

3. アンケート等から考える基里地区の現状 (平成23年と令和3年の比較)



4. 基里地区全体図



No	各町公民館
①	幡 崎 町
②	姫 方 町
③	原 町
④	飯 田 町
⑤	曾 根 崎 町
⑥	松 原 町
⑦	桜 町
⑧	酒 井 西 町
⑨	酒 井 東 町
⑩	水 屋 町



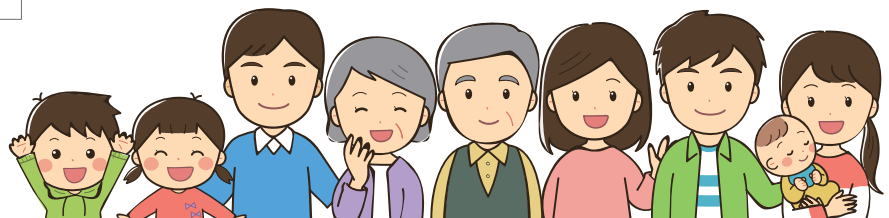
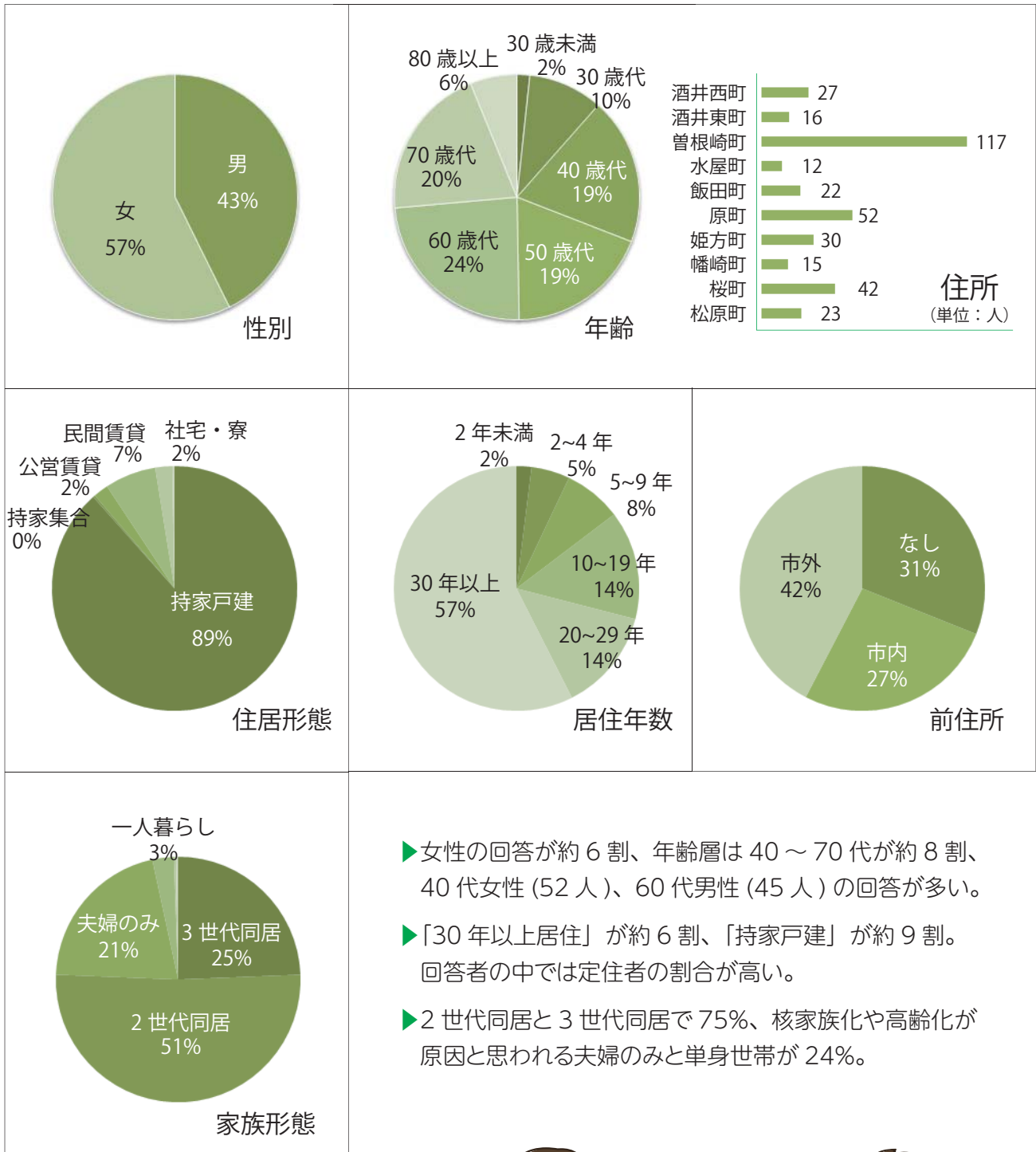
基里まちづくり推進センター本館
避 難 所



基里まちづくり推進センター分館
避 難 所

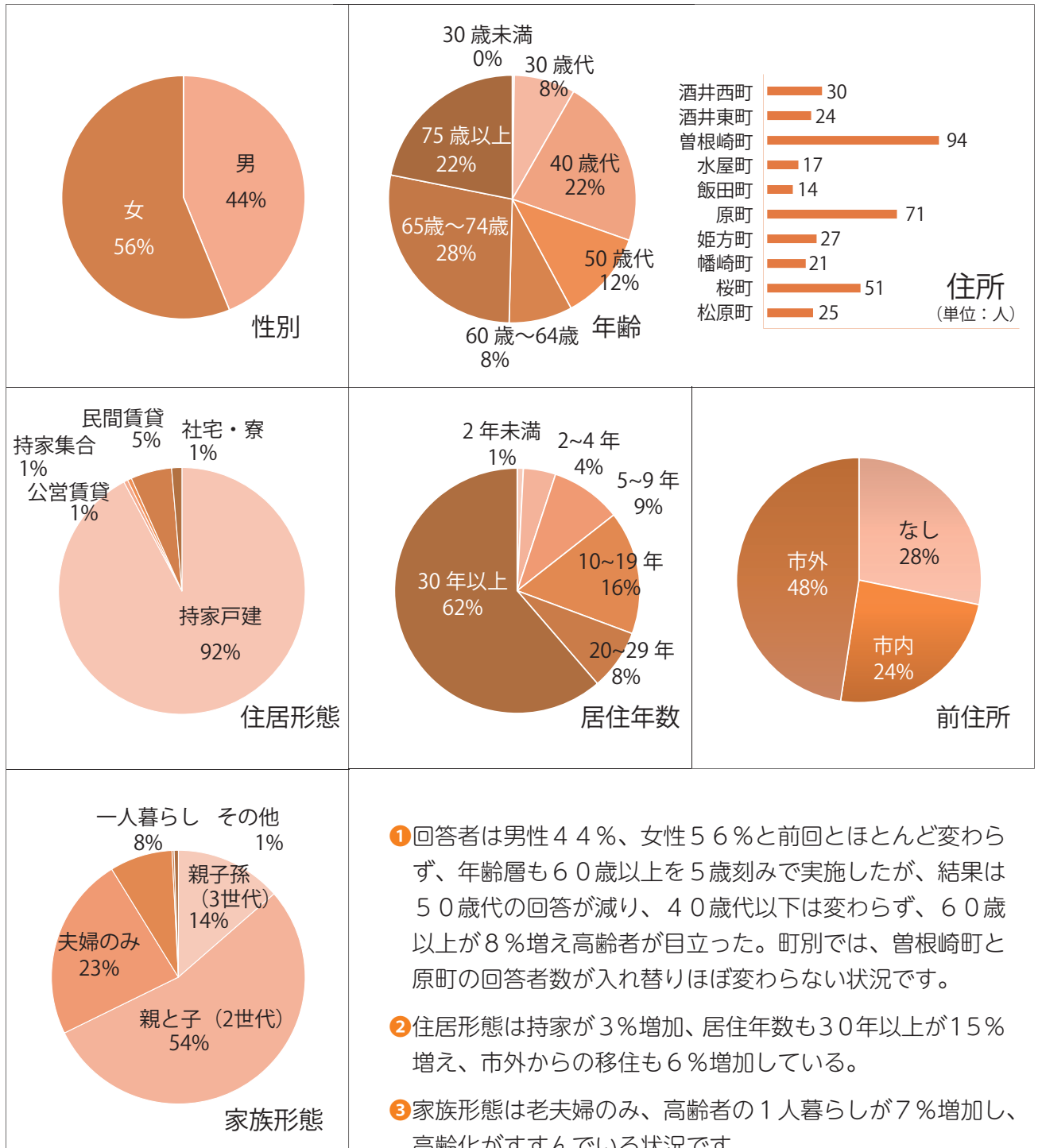
(1-1) アンケートの概要 (平成23年)

平成23年、全世帯の1割以上にあたる400世帯にまちづくりに関するアンケートを配布、356世帯から回答、回収率89%。



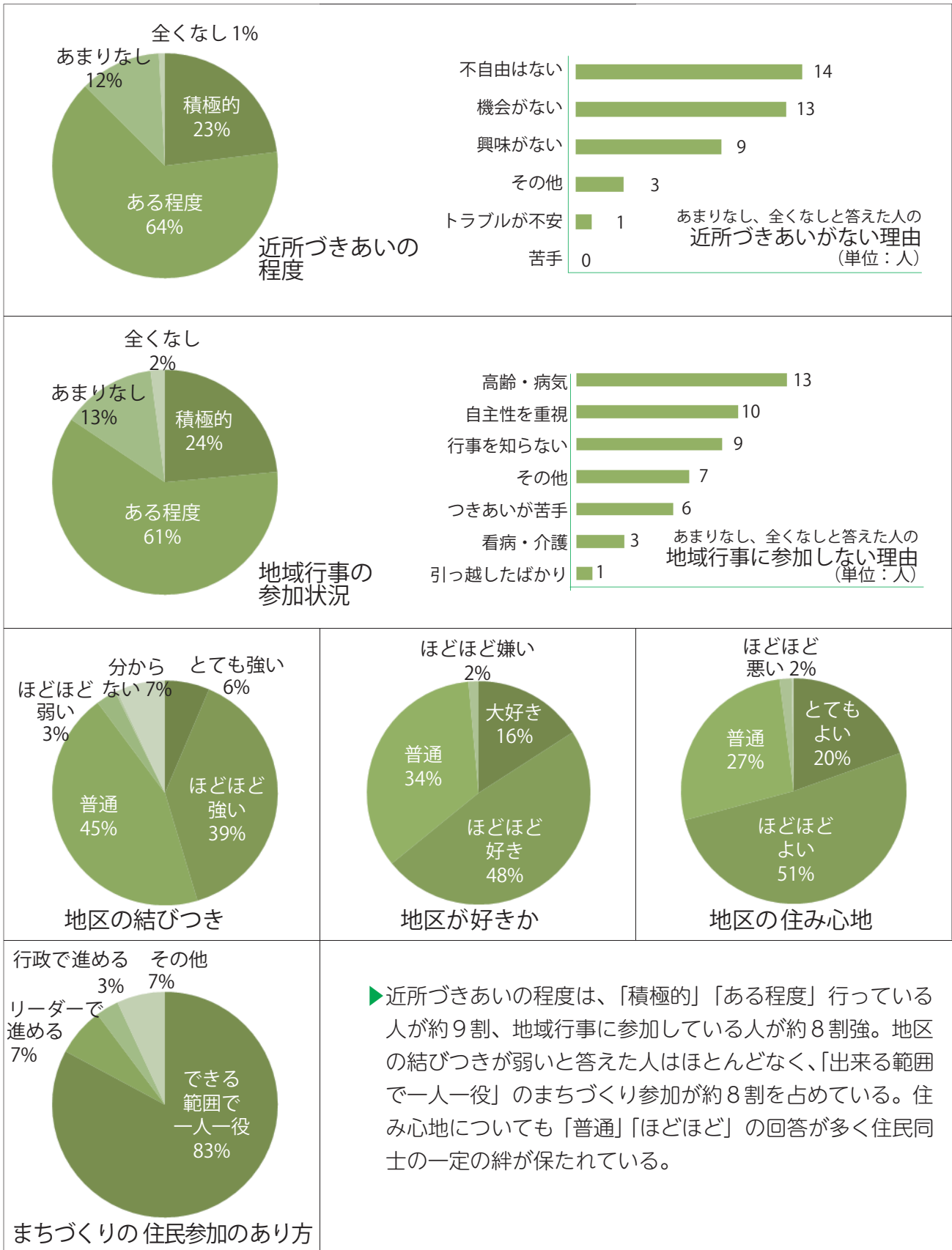
(1-2) アンケートの概要 (令和3年)

平成23年の基里地区まちづくり推進計画策定から10年経過したことから、基里地区の状況把握のため前回の対象者と同じ形態で412世帯にアンケートを依頼374世帯から回答いただき、回収率は91%でした。

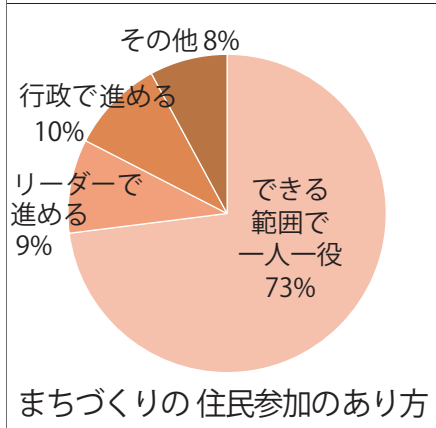
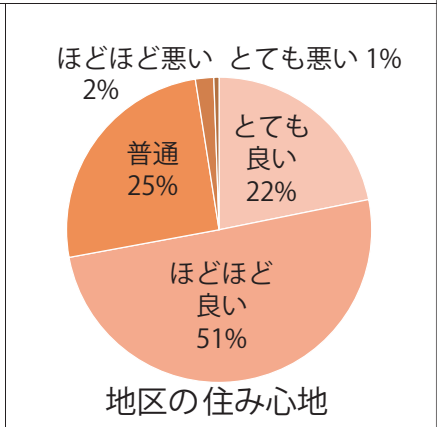
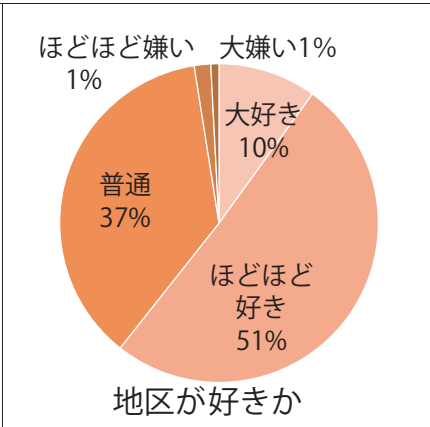
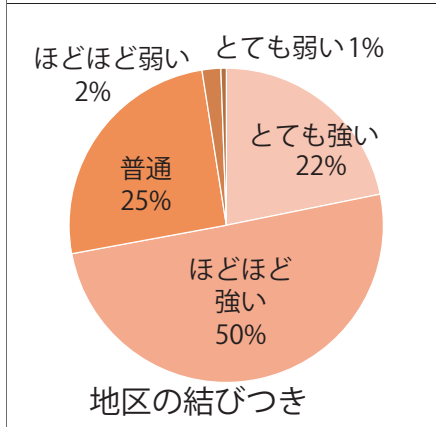
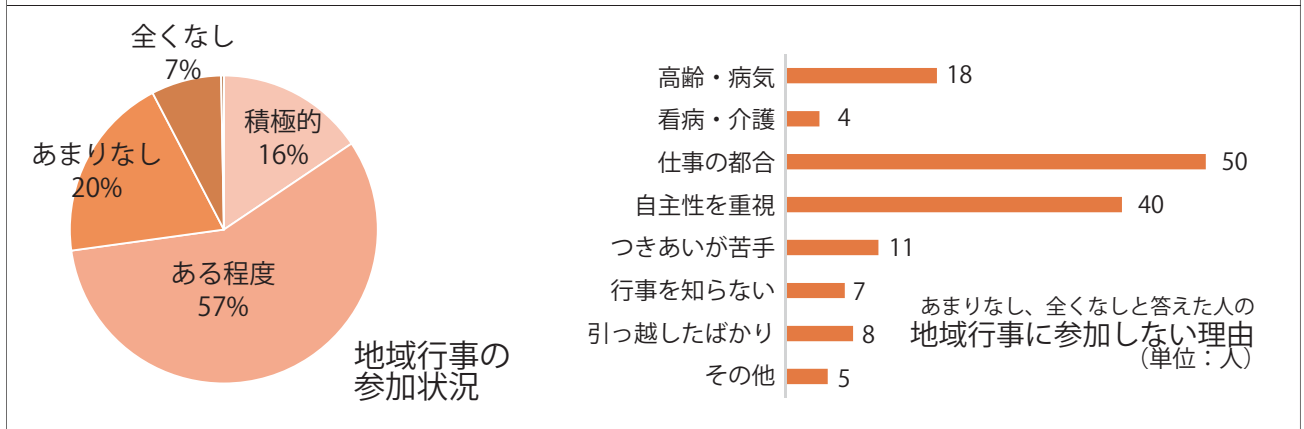
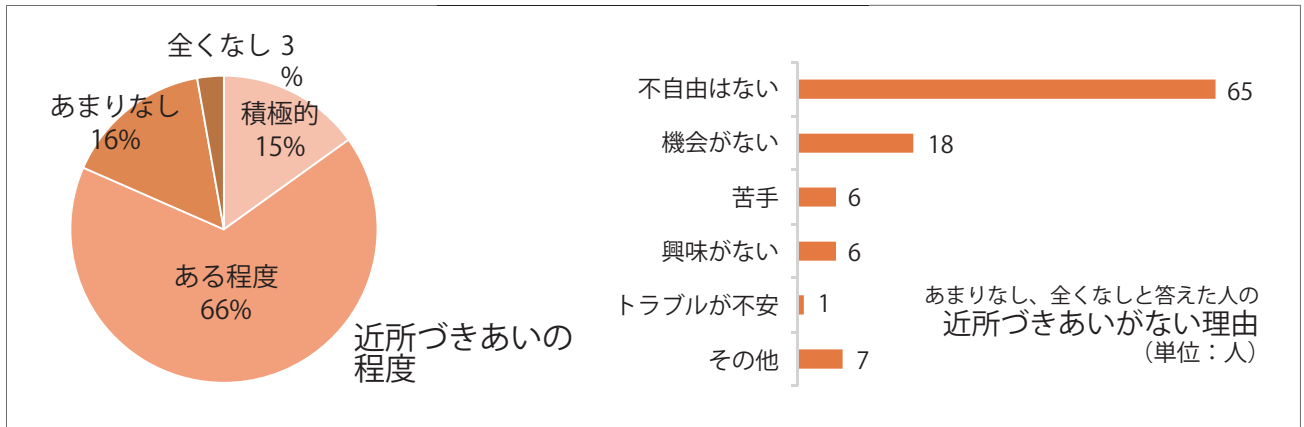


- ① 回答者は男性44%、女性56%と前回とほとんど変わらず、年齢層も60歳以上を5歳刻みで実施したが、結果は50歳代の回答が減り、40歳代以下は変わらず、60歳以上が8%増え高齢者が目立った。町別では、曾根崎町と原町の回答者数が入れ替りほぼ変わらない状況です。
- ② 住居形態は持家が3%増加、居住年数も30年以上が15%増え、市外からの移住も6%増加している。
- ③ 家族形態は老夫婦のみ、高齢者の1人暮らしが7%増加し、高齢化がすすんでいる状況です。

(2-1) 地域に対する意識 (平成23年)

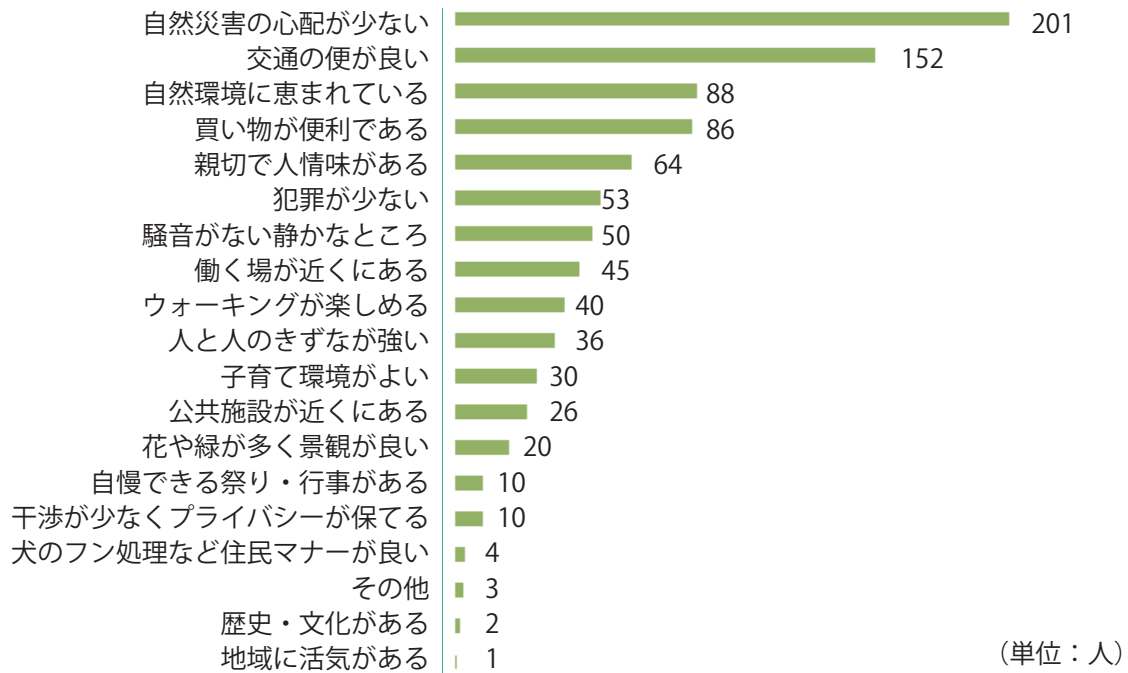


(2-2) 地域に対する意識 (令和3年)



- ① 近所付き合いの程度は、前回より積極的、ある程度で7%減少、理由については、不自由はない65人。地域行事への参加も積極的、ある程度で12%減少し、理由については、仕事の都合を除けば、高齢・病気が18人、自主性を重視が40人と前回よりもかなり多くなっています。しかし、地区の結びつきが弱いと回答した方は2%となっています。
- ② 地区が好きか、地区の住み心地については前回同様、普通、ほどほどの回答が多く一定の絆は保たれていると思われます。
- ③ 住民参加のまちづくりでは、「できる範囲で一人一役」が前回より10%減少しており、担い手の高齢化が大きく影響していると思われます。

(3-1) 基里地区の長所 (平成23年)



▶ 災害の心配が少ない (201人)

アンケートの回答では「自然災害の心配が少ない」が最も多く、災害に対し安心感があると考えられます。実際、基里地区では昭和28年の西日本大水害以来、60年近く大規模な災害を経験しておらず、災害が少ない地域と言えます。このため、災害に対する危機意識の低下が課題とも言えます。

▶ 交通の便がよい(152人)・買い物が便利(86人)・働く場が近くにある(45人)

基里地区は南北に長く東西に短い地形です。その中を縦断するように国道3号が通り、国道500号、九州自動車道、JRなども走っており、九州の交通の結節点となっています。

この交通の便の良さは、住民の利点として①商業地・行楽地へのアクセスの良さ②勤務地の広域化による雇用の確保などが挙げられます。

反面、幹線道路の渋滞のため、生活道路が抜け道として利用されるなど、通学路を中心に交通事故の危険性が高まっています。

▶ 自然環境に恵まれている (88人)

基里地区は、北部が物流拠点として整備されている一方、南部は昔ながらの田園風景が広がっています。

宝満川・大木川・山下川、秋光川など、多くの河川も流れており、アンケートでは自然環境の保全と美化を望む回答がありました。

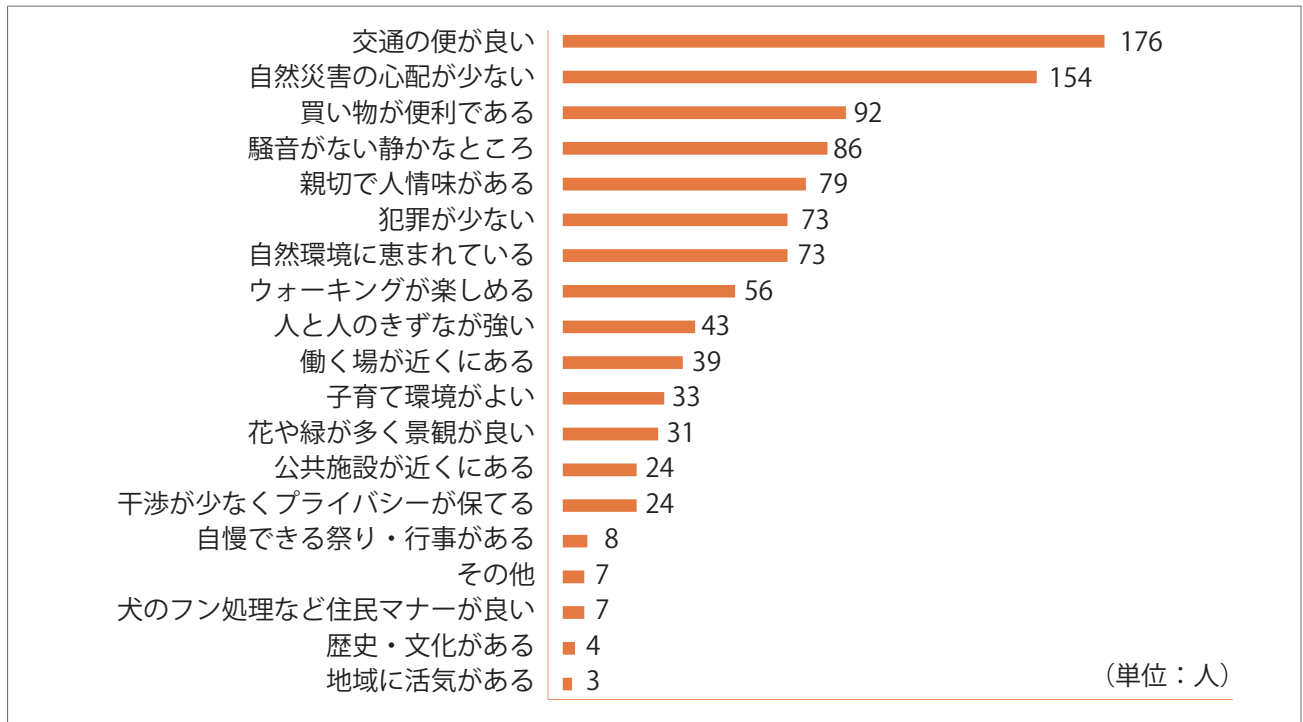
▶ 親切で人情味がある (64人)

住民同士の一定の絆が保たれている基里地区では、『ご近所間の親切や人情を大事にし、結びつきが薄れたり無関心層が増えることに危機感をもっている人が多い』と言えます。

一般的に、生活の利便性が向上したことにより、昔は足りないものを補うために必須であった地縁・血縁などの人間関係が希薄になる傾向にあります。

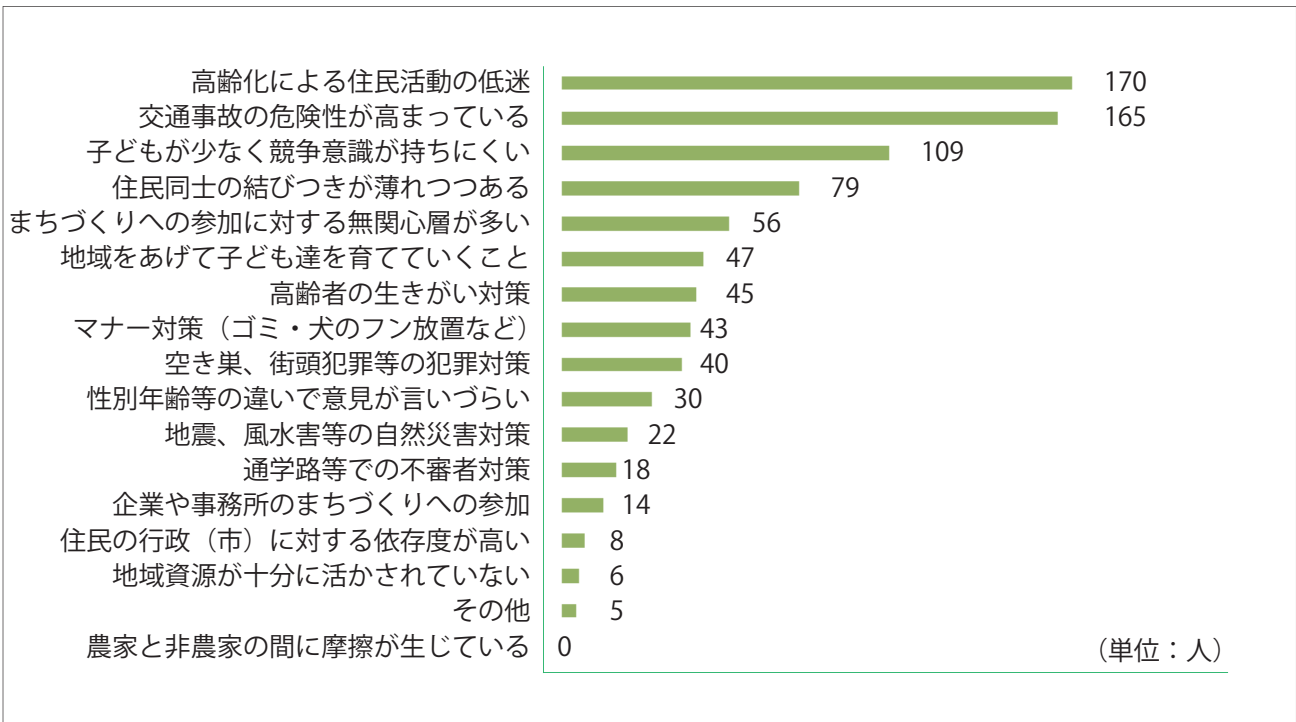
しかし、災害や急病などの緊急時や防犯対策では、隣保班などの住民同士の人間関係が非常に重要です。「優しさ」と「思いやり」と「ちょっとのお節介」が地域の住みよさと活性化にとって欠かせないものであり、高齢化が進む基里地区にとって、その維持と継承が大切だと言えます。

(3-2) 基里地区の長所 (令和3年)



- ①基里地区の長所は今回、上位①②番は前回のアンケートの①②番が逆転しており、①番目の「交通の便が良い」(176人)は前回同様、③番目の「買い物が便利である」(92人)商業地、行楽地へのアクセスの良さ、⑩番目の「働く場が近くにある」(39人)勤務地の広域化による雇用の確保が出来ることから、「交通の便が良い」という回答になっているようです。
- しかし、幹線道路渋滞を避けるため通学時間帯に生活道路を抜け道として利用する県外ナンバーも多く通学路の交通事故など安全対策を図るため「基里地区交通対策協議会」「基里っ子見守り隊」の活動が重要であると思われます。
- また、国道3号線拡幅による4車線化に伴い生活道路からの車の横断、左折・右折問題、(仮称)味坂スマートインター開設に伴う連絡道路等の交通量増加などが懸念されます。
- ②②番目の「自然災害の心配が少ない」(154人)については、曾根崎町を境に酒井西町、酒井東町、水屋町においては水害などの自然災害対策を課題として回答されています。
- 平成29年の九州北部豪雨から毎年、「線状降水帯」が九州北部に発生しており、令和元年8月には基里地区において集中豪雨による床上浸水の被害が発生しました。基里地区内には、筑後川の支流で秋光川、山下川、大木川、宝満川など大きな河川も流れており、今後は氾濫、決壊なども懸念され、土砂の浚渫、避難所の確認、誘導態勢の再確認などが必要と思われます。
- ③「親切で人情味がある」(79人)は前回と同じ⑤番目ではあるが、10年経過した現在、高齢化がすすみ、老夫婦のみ、高齢者の一人暮らしが増加していることから、住民同士の関係の希薄化を課題として回答されている方もあります。

(4-1) 基里地区の課題 (平成23年)



▶ 高齢化による住民活動の低迷 (170人)
・ 高齢者の生きがい対策 (45人)

基里地区は、鳥栖市の中でも、特に高齢化が進むと予測される地域です。高齢化により、支援(買物、掃除、避難)を必要とする人が増え、また、地域行事の担い手や参加者も減少していくと予想されます。

この高齢化によって発生する課題は、生活や地域に密着するものが多く、住民・地域・行政が連携しないと解決しない部分があるため、その連携と担い手の育成が大きな課題です。

▶ 子どもが少なく競争意識が持ちにくい (109人)・地域をあげて子ども達を育てていくこと (47人)

平成24年4月現在、基里小児童は384人、基里中学生は141人であり、その数は減少傾向にあります。

児童生徒数の減少は大きな課題であり、未就学児を含め、子ども達が健全に育つために、地域がどう関わり補完していくのか考えていく必要があります。

▶ ゴミ・犬のフン放置などのマナー対策 (43人)

会議やアンケートで多かった意見は、ゴミやフン放置などのマナー対策です。特にフン放置箇所は公園や道路、土手など広範囲に渡り、地区外の人が放置するケースもあります。

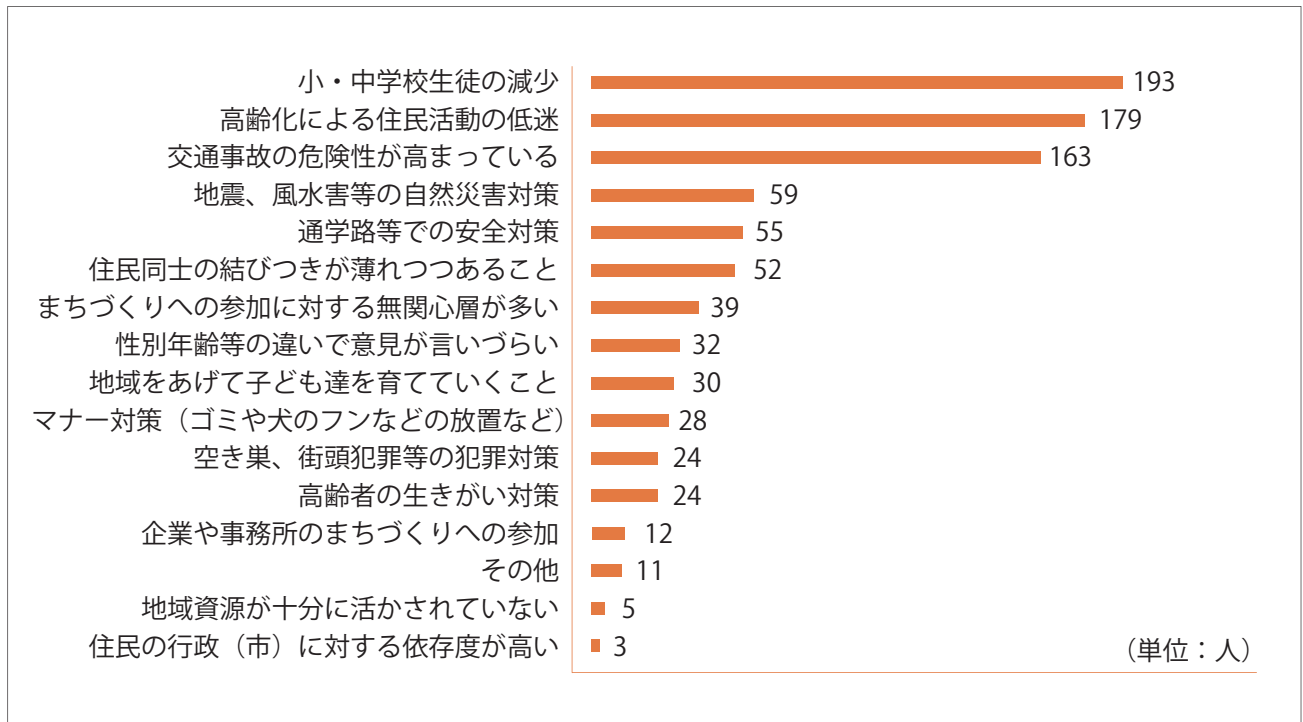
この課題は全国的に問題になっており、他地区の取り組み事例を参考にしながら、ゴミや犬のフン放置対策を通じた環境美化意識の向上を図る必要があります。

▶ その他の意見

住民同士の結びつきの希薄化や空き巣等の犯罪対策のほか、地域資源が活かされていないとの回答がありました。

地域資源については、その存在が知られていない可能性があるため、地域の歴史や資源を再確認し、周知する必要があります。

(4-2) 基里地区の課題 (令和3年)



①①番目の回答は「小中学校生徒の減少」(193人)となっています。

令和3年9月現在、基里小児童は362人、基里中生徒は141人、合計で503人、ピークは平成18年度の570人、平成24年度以降の小中学校児童・生徒合計の推移はほとんど変わらず、核家族少子化の状況が続いています。

⑨番目の「地域をあげて子ども達を育てていくこと」(30人)

他地区からの移住等を考えた場合、地区と学校が協力し特色ある学校づくり（学力、スポーツ、芸術等に特化）を目指す必要があります。

②②番目は「高齢化がすすみ、様々な住民活動に支障が出始めたこと」(179人)で、前回の①番目の課題となっていることです。

今回のアンケートの中でも家族形態や、地域行事への参加、住民参加のまちづくりでも高齢化が前面に出てきており、担い手や参加者が減少している要因だと思えます。

また、高齢化による生活支援を必要とする方も増えていくことから、今後は隣保班等の住民同士の協力体制（絆）強化や鳥栖市の推進事業「ふれあいネットワーク活動」が重要となってきます。

4. 基里地区の将来像

(1) 基本目標

住民同士のきずなが強く、互いを助け合う基里地区の良さを次世代へ継承するとともに、より幸せで豊かな住みよいまち

基里地区まちづくり推進協議会は、基里地区の長所を伸ばし、課題解決をすすめて行くことが住みよいまちづくりと考え、基里地区の「利便性」「環境の良さ」等の特徴を伸ばし、住みよいまちをつかっていくため、基本目標を定め取組んで来ました。

今後もこの基本目標を踏襲し、達成に向け取組んでまいります。

(2) 基里地区まちづくり推進協議会シンボルマークの設置

地区の皆様へ基里地区まちづくり推進協議会の存在、前項の「基本目標」達成に向け広くPRしていくため、地区の皆様へシンボルマークを募集し決定いたしました。

今後は、この「基里地区まちづくり推進協議会シンボルマーク」の下「基本目標」達成に向け取組んでまいります。



コンセプト

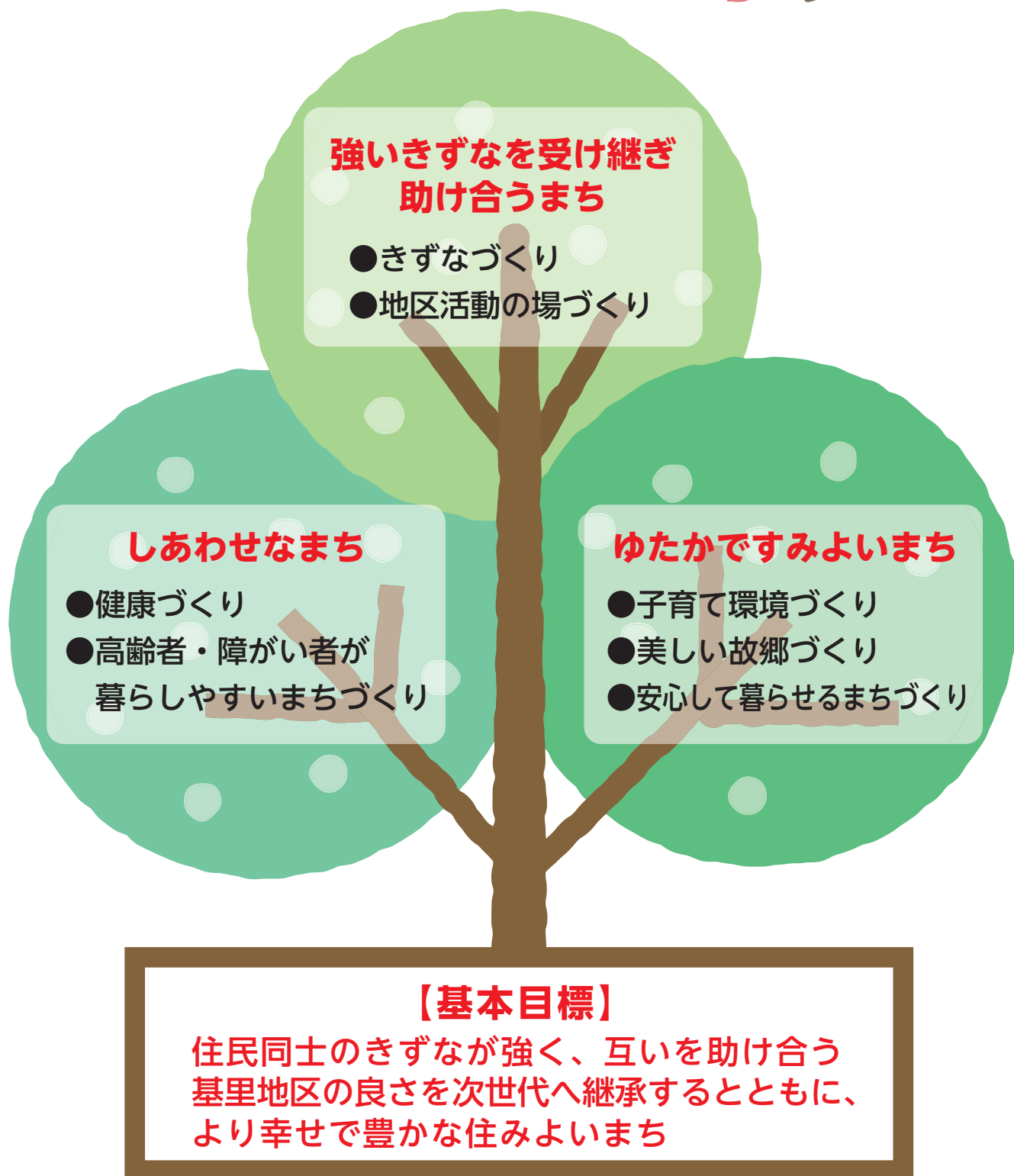
10枚の葉は基里地区の10町を表しています。

「基」は基里地区まちづくり推進協議会を表しています。「二重の輪」は基里地区まちづくり推進協議会を中心に10町がしっかりと手を取り合って仲良く楽しいまちづくりを・・・との願いを込めています。

制作者 鳥栖市曾根崎町 白垣ひろ子さん

(3) 基里地区まちづくり基本計画

基本目標「住民同士のきずなが強く、互いを助け合う基里地区の良さを次世代へ継承するとともに、より幸せで豊かな住みよいまち」達成に向け、3つの柱と7つのテーマを踏襲します。



5. 基本計画取組一覧表

基本計画を踏襲し、まちづくりの実現に向け1年毎に取組内容を検討実践し、長期的に取組めます。

(1) 強いきずなを受け継ぎ助け合うまち

テーマ	取組	担当部会	経過
きずなづくり	多世代交流	教育・健康/安全・環境	継続中
	地区で声かけしやすい環境づくり	教育・健康/安全・環境	継続中
	公民館や公園などの場の活用	教育・健康/安全・環境	継続中
	外国人と地区の融和	教育・健康/安全・環境	継続中
地区活動の場づくり	行事や活動の広報強化	教育・健康/安全・環境	継続中
	参加者不足の解消	教育・健康/安全・環境	継続中
	担い手の育成	教育・健康/安全・環境	継続中

(2) しあわせなまち

テーマ	取組	担当部会	経過
健康づくり	健康情報を知る	教育・健康	継続中
	運動しやすい環境をつくる		
	食生活改善の推進		
	生涯学習の推進	教育・健康/安全・環境	継続中
高齢者・障がい者が暮らしやすいまちづくり	生きがい対策	教育・健康	継続中
	安心して暮らせる環境づくり		
	だれもが運動できる環境づくり		

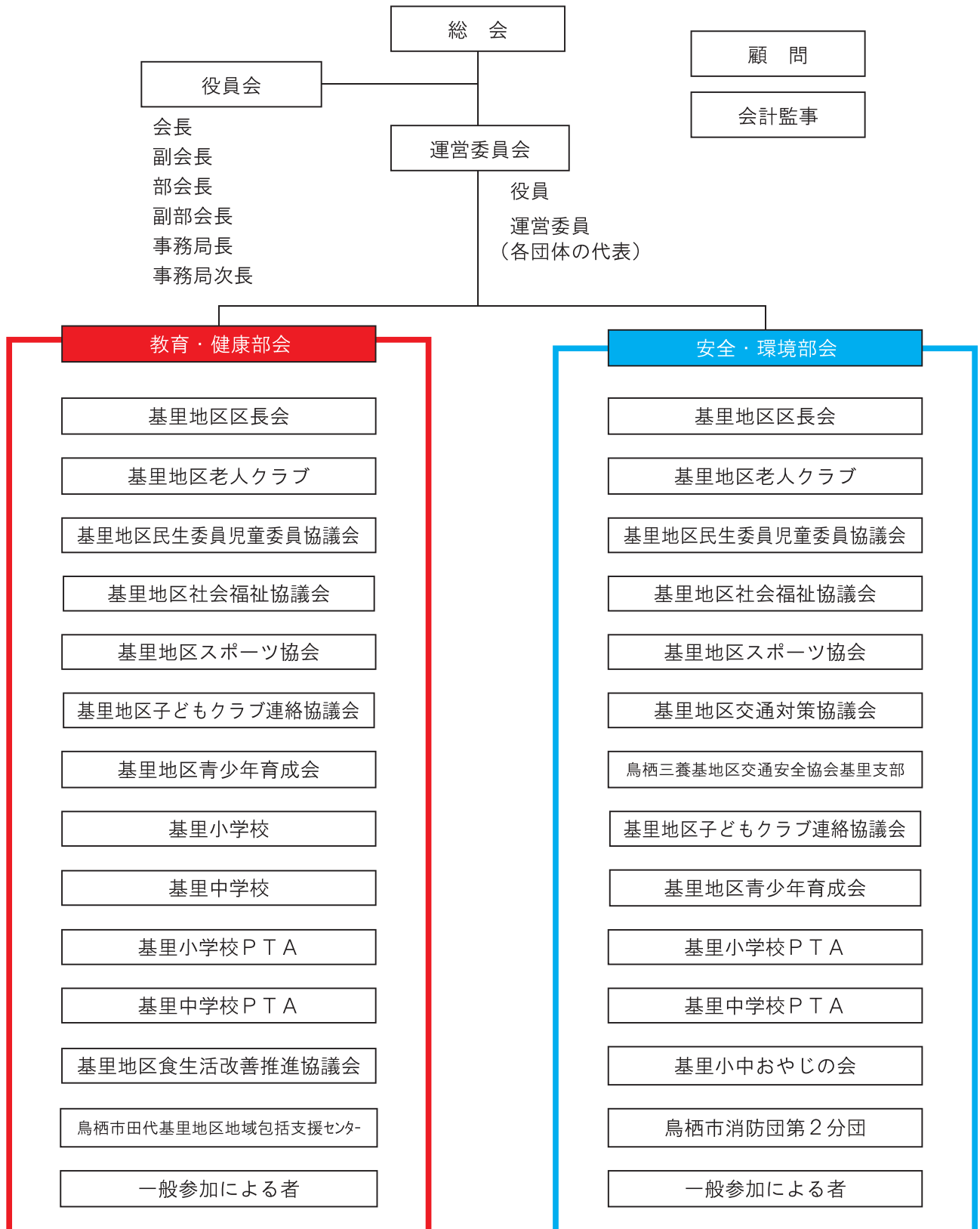
(3) ゆたかですみよいまち

テーマ	取組	担当部会	経過
子育て環境づくり	学校の現状を地区で共有する	教育・健康	継続中
	子ども達を地区で見守る		
	子育て支援が必要な方の把握	教育・健康	継続中
	未就学児の子育て・教育支援		
	子どものふれあい遊び場づくり		
少子化と活性化対策	教育・健康	継続中	
美しい故郷づくり	環境美化	安全・環境	継続中
	歴史の伝承	教育・健康	継続中
安心して暮らせるまちづくり	道路の危険個所の点検	安全・環境	継続中
	避難場所の周知		
	交通マナー対策	安全・環境	継続中
	防犯対策		
	防災対策		
空き家対策	安全・環境	未整備	

6. まちづくり推進体制

まちづくり推進計画の推進は、基里地区まちづくり推進協議会の運営体制を基本とします。

基里地区まちづくり推進協議会運営体制（令和3年度）



7. 参考資料

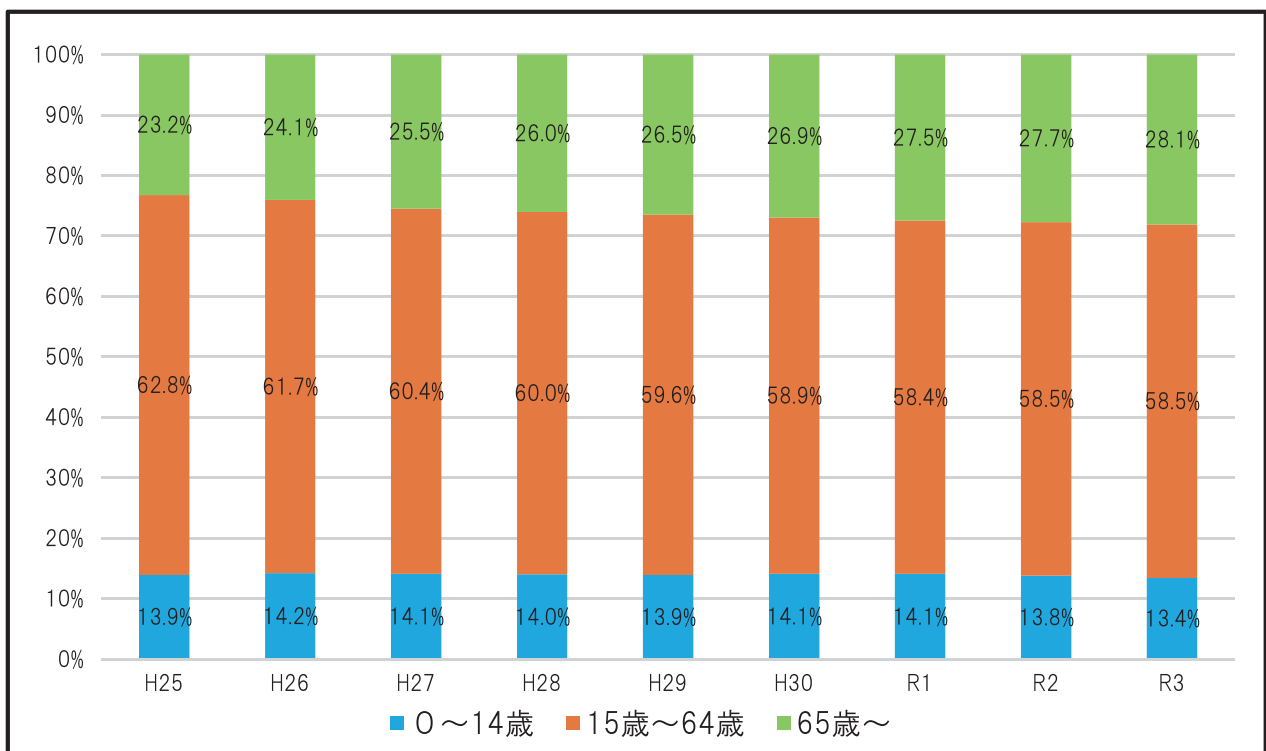
○基里地区年齢別人口の推移（各年3月末日現在）

（単位：人）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
0～14歳	1,071	1,099	1,078	1,058	1,045	1,060	1,060	1,045	1,017
15歳～64歳	4,827	4,777	4,605	4,531	4,475	4,422	4,398	4,434	4,429
65歳～	1,786	1,862	1,946	1,966	1,991	2,021	2,068	2,101	2,129
合計	7,684	7,738	7,629	7,555	7,511	7,503	7,526	7,580	7,575
世帯数	2,988	3,054	3,032	3,066	3,081	3,141	3,187	3,257	3,315

○基里地区年齢別人口割合の推移（各年3月末日現在）

（単位：%）



○基里小中学校児童・生徒数の推移（各年5月1日現在）

（単位：人）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
基里小学校	386	363	367	365	360	344	350	369	362
基里中学校	141	155	158	158	150	172	182	165	141
合計	527	518	525	523	510	516	532	534	503

※H19に香楠中学校が開校したことにより基里中学校の生徒数が減少していると思われる。

発行 令和4年3月

基里地区まちづくり推進協議会

基里まちづくり推進センター 本館

住所：佐賀県鳥栖市曾根崎町1362番地

電話：0942-82-3324 FAX：0942-55-5350

基里まちづくり推進センター 分館

住所：佐賀県鳥栖市原町831番地

電話/FAX：0942-82-6347

